

みたけ夢だより

9月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

主体的・対話的で深い学びへ

副校長

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が帰ってきました。長い休業期間に普段なかなかできない体験をした子どもたちもいるのではないのでしょうか。夏休み中も、花の水やりや、特別水泳への参加などに、ご協力をいただきありがとうございました。花壇の花はあざやかな天然色で子どもたちを迎えてくれました。また、青葉区小学校水泳記録会や横浜市小学校水泳大会に、多くの児童が挑戦することができました。

普段できない体験ということでは、私も新任副校長研修「短期企業等研修派遣」として、7月31日から8月4日までの5日間、中学校の副校長2人と一緒に、都内の企業で研修を受けてきました。

中でも、未来の学習空間「フューチャークラスルーム」というところでは、双方向型のコミュニケーションスペースで、さまざまなICT機器を活用した授業の展開例を学ぶことができました。横浜市でも、各学校に11台ずつタブレットが配当されています。わたしは、これを授業でどのように活用していくことができるのか、どのような効果が期待できるのかを考えてみました。例えば、子どもたちが考えたことを、大きな紙に書いて黒板にはって説明することがありますが、タブレットを使えば、試行錯誤して何度も書き直して考えをまとめたり、それを共有したりすることが簡単になります。説明するときに映像を使うこともできます。これは次期学習指導要領で言われている、「主体的・対話的で深い学び」につながっていくのではないのでしょうか。

このように口では偉そうに言っていますが、実はわたしはICT機器の活用が苦手です。しかし、今回、いろいろな機器にふれてみて、まず、ふれてみることで、できないと思わないことが大切だと思いました。

研修の最後には、企業側から提示された課題に対して3人の副校長が意見を出し合ってまとめたことを発表しました。せっかくICT機器の活用を学んだのですが、模造紙に付箋をはってまとめました。あとの2人の先生が、わたしが作成した資料を見て、小学校の先生は掲示物を作るのがうまい、見やすくきれいだとほめてくれました。ほめられるとうれしくなり、もっとよいものにしようと思いました。もしかすると、うまくのせられただけかもしれませんが、子どもの気持ちを経験できました。こういうところから、「主体的・対話的で深い学び」ができていくのかもしれない。今回の研修の成果をみたけ台小学校の子どもたちに少しでも還元できるようにしていきたいと思っています。